

**「山椒は小粒でもピリ辛い」
存在感を示す大学を目指して**

本学は一学年入学定員100名という小規模大学ですが、教員一人当たりの学生数は国立大学と同程度となる約10名に設計されるなど、密度の高い教育と研究が可能な構造となっています。この度、7年をかけたキャンパスの総合的リニューアルが完了し、教育や研究に関する施設や各所に設けられたコミュニケーションスペース、学生寮と国際交流ハウス、クリーンルームと創造性開発工房など、大部分のファンリテイが刷新されました。

このような充実した環境を得て、教職員ならびに学生の全構成員は一丸となって、工学を基盤として社会に貢献できる人材の育成に邁進して参ります。理解を真に深める為の学修態度と斬新な成果を挙げる為の研究態度とを常に考究・実践しつつ、「山椒は小粒でもピリ辛い」存在感を高める努力を積み重ねて参ります。

豊田工業大学 学長 保立 和夫

建学の理念「研究と創造に心を致し、常に時流に先ずべし」の言葉を残した、発明王豊田佐吉翁、その長男でトヨタ自動車の創業者 豊田喜一郎。「研究と創造」の歴史の一端を担った、偉大な先人たちの熱い情熱を受け継ぎ、新たな未来について言葉を交わす場となるよう、さまざまな展示やコミュニケーションスペースを設けています。

C1 豊田式木製人力織機
中央棟 / 1Fロビー

建学の理念「研究と創造に心を致し、常に時流に先ずべし」の言葉を遺した、豊田佐吉翁が1890年発明、翌年初めて特許を取得した実機をもとに、トヨタ自動車が忠実に複製。



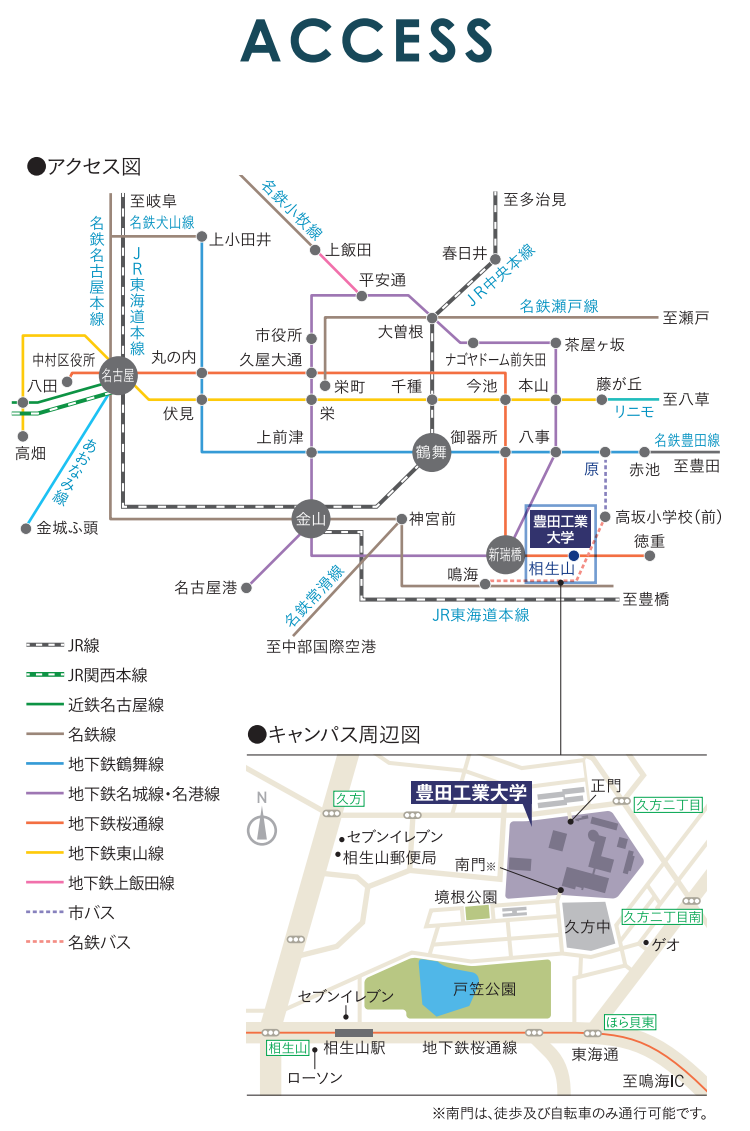
**W2 Innovators Plaza
t-COMPASS**
西棟 / 1F図書館内

豊田佐吉翁の誕生に始まる、一世紀半に及ぶ「研究と創造」の歴史の一端を紹介。偉大な発明家たちの情熱やモノづくりに対する挑戦の軌跡が刻まれた、ゆかりの品や彼らが残した言葉などを展示。



C5 障子ラウンジ
中央棟 / 2F

教職員や本学OB・OGなどの交流、または来客対応のためのラウンジ。豊田佐吉翁の言葉「障子を開けてみよ、外は広いぞ」を想起させる、障子が多用されたデザイン。

●アクセス方法

公共交通機関でお越しの場合

名古屋駅方面から

名古屋駅 → 地下鉄約30分 → 相生山駅 → 徒歩約10分

地下鉄桜通線「相生山駅」下車、1番出口から徒歩約10分

豊田市・赤池方面から

原駅 → バス約10分 → 高坂小学校停 → 徒歩約10分

地下鉄鶴舞線「原駅」下車、2番出口からバス(幹原1号系統) 相生山住宅・島田一ツ山行き「高坂小学校」下車、徒歩約10分

お車で越しの場合

名古屋第二環状自動車道 → 鳴海IC → 東海道を相生山方面へ「ほら貝東」を右折

名古屋第二環状自動車道「鳴海IC」を降りて東海道を相生山方面に進み、「ほら貝東」を右折

豊田工業大学

学校法人 トヨタ学園
豊田工業大学
TOYOTA TECHNOLOGICAL INSTITUTE

<https://www.toyota-ti.ac.jp/>

〒468-8511 名古屋市長久区久方二丁目12-1
TEL: 052-802-1111

TTI



**豊田工業大学
Campus Guide**

2020年7月、新キャンパス完成。

実学を重視した
未来型理工系キャンパス



「次世代国際産業リーダー」と、「選択・集中した分野で世界トップの研究成果」を生む、実学を重視した未来型理工系キャンパスへ。

豊田工業大学は2011年の開学30周年を機に、キャンパス刷新の計画を進めてきました。それは、未来型教育と研究の拠点となり、世界をリードできる「国際産業リーダー」育成にふさわしい教育・研究環境を実現するためです。その思いが2020年夏、ついに形となりました。

About

ルーツを辿って未来を語ろう。



豊田喜一郎記念ホール
中央棟 / 1F

創造的技術人材育成のため、大学設立の夢を抱いた、トヨタ自動車創業者 豊田喜一郎氏にちなんで名づけられた、350席収容のオーバル型多目的施設。



C3 iPlaza/iLobby

中央棟/1F

語学教育、国際交流促進のための施設。学生、教職員、留学生、外国人研究員などの交流促進をはじめ、外国語学習や国際性涵養に役立つ場として活用されています。



コンセプト [コミュニケーション]



C2 ラーニングcommons

中央棟/1F

自学自習を目的とした開放型学習スペース。学生間の交流機会が自然と増え、相互に刺激しながら共に学ぶことができるよう、用途に沿ったA~Dのcommonsを設置しています。

中央棟

交流・対話・コミュニケーション機会の飛躍的拡大を目指し、人と人、建物と建物をつなぐ3層のラーニングモール「TRI-Mall」を中心とした、さまざまな交流空間を設けています。

- 01 豊田式木製人力織機 | 1F
- 02 Shannon広場 | 2F
- 03 障子ラウンジ | 2F
- 04 志広場 | 3F
- 05 スタジオ (アート、ミュージック) | 3F



久方寮

学部1年次全寮制とし、寮での共同生活を通じ、豊かな人間性と社会人基礎力を育み、創造的知性を備えた実践的・開発型技術者を育成。

図書館と情報システム支援室を含む、教育・研究活動を総合的に支援するための組織、総合情報センターが設置されています。

W2 t-COMPASS | 1F

- 2F ■ 食堂
- 1F ■ 総合情報センター(図書館)
- t-COMPASS



W1 総合情報センター(図書館)

西棟/1F

国際交流ハウス (Ti-House)

外国人留学生や修士課程学生、博士課程学生、PD研究員などの宿泊・滞在施設。海外の文化・生活習慣を体験できる、国際交流イベントなども開催。



- | 西側 | 東側 |
|--|----|
| 3F
■ 志広場
■ ミュージック・アートスタジオ
■ Planck-Esaki Mall | |

- | | |
|--|--------------------------|
| 2F
■ Shannon広場
■ 障子ラウンジ
■ da Vinci広場
■ Faraday-Edison Mall | ■ 研究室
■ 実験室
■ 教員居室 |
|--|--------------------------|

- | | |
|---|--|
| 1F
■ 豊田喜一郎記念ホール
■ ラーニングcommons
■ iPlaza iLobby
■ 天樹(売店)
■ Newton-Watt Mall | |
|---|--|

※中央棟1~3Fは、南棟の4~6Fと接続しています。

北棟

- 3F ■ 研究室
- 2F ■ 実験室
- 1F ■ 教員居室



産学連携の柱となる、3つの附属研究センター(スマートビークル/スマートエネルギー/スマート光・物質)やJST戦略的創造研究推進事業(CREST)採択プロジェクトなど、多岐にわたる研究活動を展開しています。

E1 クリーンルーム

東棟/1F

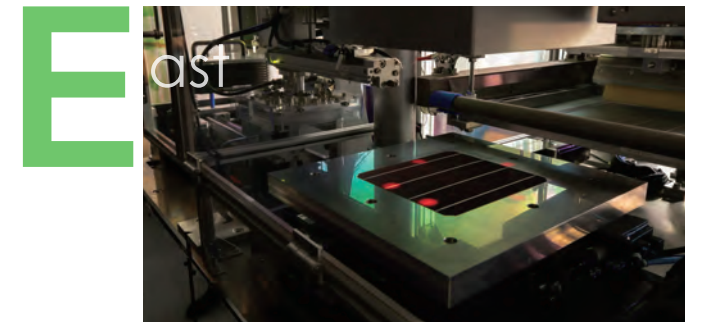
空気中の塵埃の数、温度や湿度の管理が必要とされる、半導体デバイスやマイクロマシンを製作するための設備。面積約450㎡の清浄度クラス100(1立方フィート内に含まれる直径0.5ミクロン以上の塵埃100個以下)およびクラス1,000、10,000から構成されています。



東棟

- 3F ■ 研究室
■ 実験室
- 2F ■ NEDO 太陽電池ラボ
■ 実験室
- 1F ■ クリーンルーム

ナノメートル寸法で、構造と組成を制御できる研究設備をクリーンルーム内とその周辺に配置し、先端的研究と教育を推進するナノテクノロジーセンターを設置しています。



床面積
51,000㎡
(リニューアル前:42,000㎡)

南棟

- S1 事務局 | 5F
- S2 保健室 | 5F

学生同士や学生と教職員など、人をつなぐ。伝統と未来をつなぐ。大学と地域・環境をつなぐ。さまざまな「つなぐ」が、建物の各所に表現されています。

- | 西側 | 東側 |
|----------------------------------|--------------------------------------|
| 6F ■ 講義室 | ■ 研究室
■ 実験室
■ 教員居室
■ テクノホール |
| 5F ■ 事務局・来客ゾーン
■ 保健室・学生支援センター | |
| 4F ■ 講義室 | |
| 3F ■ 教育実験室 | |
| 2F ■ 創造性開発工房 | |
| 1F | |

※南棟の4~6Fは、中央棟の1~3Fと接続しています。

South



S3 テクノホール(3F)と研究実験エリア

南棟/3-6F

実験室などの配置を工夫し、上下の空間的なつながりを増強することにより、異なる研究室間におけるコミュニケーションの活性化を実現しています。



S3 創造性開発工房

南棟/1・2F

愛称Eiji工房。優れた実習工場を設け、活用することの大切さを説いた、大学の創設者で初代理事長 豊田英二氏の精神を今に引き継いでいます。



S4 学生支援センター

南棟/5F

学修・留学などの学生相談や進路・就職に関する支援を専門スタッフが対応。少人数教育により、学生一人ひとりと向き合える環境を提供しています。

